

授業科目	地理		単位数	2	必修	○	前期		達成の 検 点 (5 4 3 2 1 でき ない)
一般科目	○	専門科目	選必		選択		後期		
受講学生	学科	全学科		学年	1年		通年	○	
担当教員	学科	一般教科		氏名	平林一隆				
授業の 目標概要	世界の自然環境、産業、文化の幅広い理解を通して、地球に生きる人間としての見識を身につける。同時に、人類の平和的共存を追求する心を育てる。								
対応する本校の教育目標	(A-2) (B-2) (F-1)								
履修上の 留意点	授業は教科書、地図帳、資料集を組み合わせて進めるので、毎回必ず持参すること。必要に応じてプリント資料も配付するので、各自保管して復習に利用すること。								
日程	授業項目			評価内容					
前 期	第1週	1. 広がる現代世界と地域		地理を学ぶ意義を理解できる					
	第2週	2. 世界の地形環境							
	第3週	(1) 世界の大地形の形成とその分布		大地形の分布を理解できる					
	第4週			大地形と資源分布の関係を理解できる					
	第5週	(2) 諸地域の小地形の形成と土地利用		小地形の特徴を理解できる					
	第6週			土地利用の違いとその理由を説明できる					
	第7週	中間試験							
	第8週	3. 世界の気候環境		世界の風系・海流の流れと、その発生原因を説明できる					
	第9週	(1) 大気大循環と世界の風系							
	第10週	(2) 世界の気候帯と気候区		世界の気候帯名・気候区名を把握し、その地理的分布について理解できる					
	第11週			気候と産業との関連について、とりわけ世界の農業生産との関連について理解できる					
	第12週								
	第13週								
	第14週								
	第15週			達成度の点検					
後 期	第1週	4. 世界の農業地域		世界の農業地域区分を理解できる					
	第2週			世界の農業地域の分布を理解できる					
	第3週			自然環境と社会的経済的条件の両面から世界の農業地域を理解できる					
	第4週			具体的な農業地域の特徴を理解できる					
	第5週			農業の現代的問題を理解できる					
	第6週								
	第7週	中間試験							
	第8週	5. 世界の資源		世界の主要な資源分布について理解できる					
	第9週								
	第10週			現代の資源問題を理解できる					
	第11週	6. 世界の工業		世界の工業地域形成について理解できる					
	第12週			主要な工業地域を例にとり、産業の立地条件を説明できる					
	第13週								
	第14週			現代の工業地域の変化を理解できる					
	第15週			達成度の点検					
期末試験の回数		(2回)							
授業時間数		(50時間)							
評価方法 評価基準	試験結果(100%)で評価する。詳細は第1回の授業で告知する。 変化する世界の自然環境、社会環境についての理解度、自然科学的、人文科学的、社会科学の知識も含めた、総合的な地理的理解の程度を評価する。 総合成績 60点以上を単位修得とする。								
関連科目	歴史、政治・経済、経済学								
	書名	著者名	発行所	定価					
教科書	詳説新地理B	山本正三 他	二宮書店	検定教科書					
地図帳	新詳高等地図	白浜睦男 他	帝国書院	検定教科書					
資料集	新詳地理資料 COMPLETE	帝国書院編集	帝国書院	920円					
オフィスアワー (教員在室時間)			授業時に通知する						